「10年後の市内産業の目指すべき姿」たたき台

- 市外から多くの企業が継続的に市内に事業所を立地させている。
- 市内の企業が引き続き市内で操業し事業を拡大している
- 市内の産業間・企業間の連携により付加価値の高い産業活動が行われている
- 周辺地域も含めて国際的に高い競争力を有する産業クラスターが形成されている
- 市内で様々な企業・事業者が起業し成長している

図表 10年後の市内産業の目指すべき姿の実現に向けた施策の方向性(案)

周辺地域(産業クラスターの形成)

◆ 誘致型産業振興

- 事業所を外部から地域内に誘致することで、雇用・税収増と既存事業所との相 乗効果を期待
- 工場や物流施設、商業施設など

◆ 既存集積活性化型産業振興

- 地域に集積している既存の事業所の操業が継続できる環境、新規事業を立ち上げ成功できる環境を整備
- 工場や物流施設、サービス産業など

持続して発展を続ける 小牧市の産業・経済の確立

◆ 内発型産業振興

- 地域内で確実に発生する需要を地域 内の事業者が機能連携しながら吸収
- 医療・福祉関連、教育、情報産業等の サービス産業

◆ 地域資源活用型産業振興

- 1次産品などの地域資源の高付加価値 化と販路拡大を機能連携しながら推進
- 農業、食品加工業、観光、地場産業、 伝統産業、流通業